

製造計画書（可燃性ガス冷媒又は毒性ガス冷媒以外）

1 製造の目的

種類	製氷	冷蔵	冷凍	冷房・暖房	化学用	試験・研究	その他（ ）
用途							

2 製造設備の種類

定置式	直接膨張式	() 段圧縮式	往復動式	水冷式	ユニット型
移動式	間接式	() 元冷凍式	回転式	空冷式	
車両番号 ()	ブライン ()	ヒートポンプ式	スクルー式	蒸発式	非ユニット型
車種 ()			遠心式		

3 1日の冷凍能力

トン（計算式は別紙 に示す。）

4 製造設備の明細

(1)要目

番号		
型式		
冷媒ガスの種類		
基準凝縮温度		
許容圧力 (MPa)	高压部	
	低压部	
備考		

(2)圧縮機の性能

番号		
型式		
圧縮機の種類		
気筒内径 (mm)		
行程(mm)		
気筒数		
回転数 (rpm)		
ピストン押しのけ量 (m ³ /h)		
原動機定格出力 (kW)		
製造所名		
安全装置	種類	
	口径(mm)	
	作動圧力 (MPa) 又は溶融温度	
	材料	
	高圧遮断装置作動圧力 (MPa)	
備考		

注) 安全装置の種類

バネ式安全弁 ; S、高圧遮断スイッチ ; HP、高低圧遮断スイッチ ; DP、可溶栓 ; FP、油圧スイッチ ; OP、断水リレー ; WP

(3) 高圧部容器

凝縮器	番号			
	型式			
	設計圧力			
	設計温度			
	シ ェ ル 型	外径×長さ×胴板厚 ×鏡板厚 (mm)		
		内容積 (L)		
	コ イ ル 型	鏡板、管板の形状		
		材料 (胴板・鏡板・ 管板)		
		管の外径×列数×段 数×管の長さ (mm)		
		管の材料		
	製造所名			
	安 全 装 置	種類		
		口径(mm)		
		作動圧力又は溶融温 度		
		材料		
備考				
受液器	番号			
	型式			
	設計圧力 (MPa)			
	設計温度 (°C)			
	外径×長さ×胴板厚×鏡 板厚 (mm)			
	内容積 (L)			
	鏡板の形状			
	材料 (胴板・鏡板)			
	製造所名			
	安 全 装 置	種類		
		口径(mm)		
		作動圧力又は溶融温 度		
		材料		
	備考			

油 分 離 器	番号			
	型式			
	設計圧力 (MPa)			
	設計温度 (°C)			
	外径×長さ×胴板厚×鏡 板厚 (mm)			
	内容積 (L)			
	鏡板の形状			
	材料 (胴板・鏡板)			
	製造所名			
品 名	番号			
	型式			
	設計圧力 (MPa)			
	設計温度 (°C)			
	外径×長さ×胴板厚×鏡 板厚 (mm)			
	内容積 (L)			
	鏡板、管板の形状			
	材料 (胴板・鏡板・管板)			
	製造所名			
	安 全 装 置	種類		
		口径(mm)		
		作動圧力又は溶融温 度		
		材料		
備考				

(4) 低圧部容器

品名	番号			
	型式			
	設計圧力 (MPa)			
	設計温度 (°C)			
	外径×長さ×胴板厚×鏡板厚 (mm)			
	内容積 (L)			
	鏡板、管板の形状			
	材料 (胴板・鏡板・管板)			
	製造所名			
	安全装置	種類		
		口径(mm)		
		作動圧力又は溶融温度		
		材料		
備考				

(5) 配管

区分	設計圧力 (MPa)	設計温度 (°C)	材料
高圧部			
低圧部			

(6) 止め弁及び自動制御弁

区分	止め弁、自動制御弁の区分	型式	設計圧力 (MPa)	設計温度 (°C)	口径 (mm)	材料	戸数
高圧部							
低圧部							

(7) 自動制御装置

種類	有無	作動圧力 (MPa)
低圧遮断装置		
油圧遮断装置		
過負荷保護装置		
凍結防止装置		
断水保護装置		
送風機連動機構		
加熱防止装置		

5 耐圧、気密等の性能

- (1) 材料試験等、耐圧試験、気密試験証明書
別添
- (2) 冷凍用圧縮機等耐圧試験気密試験証明書
別添
- (3) 機器試験合格証明書
別添

完成検査までに提出します。

6 製造施設の位置及び付近の状況

別図

7 製造施設の構造及び製造施設の配置

別図 () (平面図・立面図及び配管系統図) に示す。

特に図中に明示する事項	図中の番号等	特に図中に明示する事項	図中の番号等
引火性発火性の物をたい積した場所		安全装置	
火気		受液器の液面計	
警戒標		保安上重大な影響を与えるバルブ	
圧力計			

8 製造施設の状

(1) 火気等の状況

引火性発火性の物をたい積した場所	無			
	有	種類・量		
		冷媒設備からの距離		
火気	無			
	有	種類		
		冷媒設備からの距離		
		防火壁又は温度上昇防止措置の有無及び種類	無	
		有	種類	

(2) 警戒標

表示事項	
------	--

(3) 振動、衝撃、腐食により冷媒ガスが漏洩しない構造

防振措置	振止め 可撓管 防振装置 その他
突出部等の防護措置	
防食措置	塗装 その他

(4) 耐震設計

凝縮機（縦置円筒形で胴部長さ 5m以上）	無	
	有	計算書は別紙 に示す。
受液器（内容積 5000 L以上）	無	
	有	計算書は別紙 に示す。

(5) 圧力計

区分	取付箇所	最高目盛	個数
高压部			
低压部			
圧縮機潤滑油			

(6) 受液器の液面計

液面計の種類	
ガラス液面計の損傷防止措置	

(7) バルブ等の基準

イ バルブ等には開閉方向を明示し、配管には液体の種類及び流れの方向を明示する。

ロ 保安上重大な影響を与えるバルブの措置

バルブの種類	個数	開閉状態の表示	液体の種類及び方向の表示	封印等の措置
安全弁				
安全弁の元弁				ハンドル撤去
緊急放出弁				
自動弁				
逆止弁				
圧縮機吐出弁				
冷却水止め弁				
ブライン止め弁				
高低圧を区分する弁				

9 冷凍保安責任者及び代理者の選任予定者

冷凍保安責任者

免状の種類

同代理者

免状の種類

10 工事完成予定日

11 工事施工業者

名称		冷凍空調施設工事事業
所在地		所認定番号
電話番号		
担当者所属氏名		

12 事業所担当者所属氏名電話番号